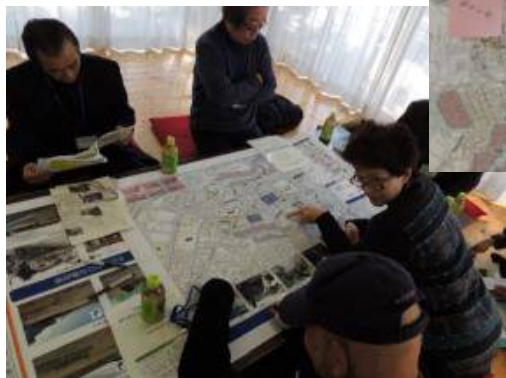
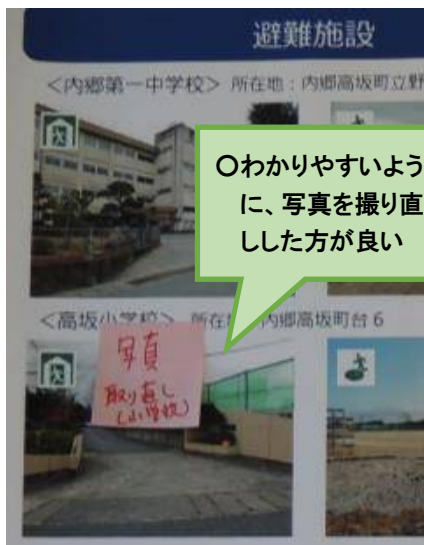
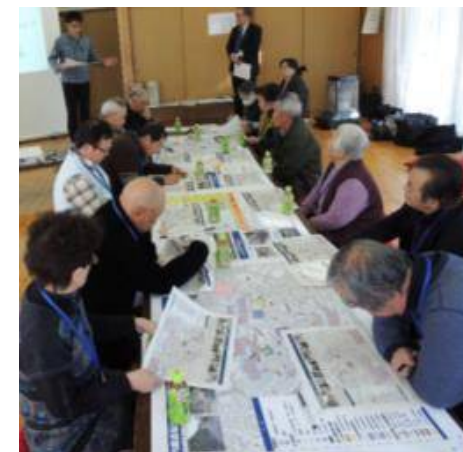




○場所の名前を
入れておこう。

内郷高坂町の 防災まちづくり活動



○わかりやすいよう
に、写真を撮り直
した方がよい

高坂住吉ふくろう見守り隊
発表者 丸子 文雄

平成28年11月5日



1. 防災まちづくり活動の取組内容

住民が、災害の危険性の確認や避難方法などの対策を検討し、自分のまちの防災力を高める計画(地区防災計画)をつくっています。これにより、助け合いによる災害への備え—「**共助力**」—の強化に取り組んでいます。

- ※この取組はいわき市の「防災まちづくり活動支援事業」として、3地区で実施しています。
- ※住民による話し合いを、平成27・28年度の2力年間積み上げています。



内郷高坂町防災まちづくり活動の体制

■活動団体 高坂住吉ふくろう見守り隊

根本 富夫	3区区長（隊長）	岸 義秋	運営委員
鈴木 美江子	4区区長（副隊長）	丸子 文雄	運営委員
堀江 保	2区区長（副隊長）	緑川 満	運営委員
齊藤 正雄	2区保健委員（庶務）	二瓶 好子	運営委員
橋本 久男	運営委員	菅野 美佐子	運営委員
山野辺 民子	営委員	渡辺 光	運営委員
佐藤 勝	運営委員	箱崎 一枝	運営委員

■活動支援

いわき市 危機管理課、内郷支所
コンサルタント（ランドブレイン株式会社）

地区防災計画について

東日本大震災では、住民の助け合いや事前の備え(避難訓練)などにより、多くの命が助かっています。避難生活でもコミュニティが大切となっています。

地区防災計画は、災害に備えた私たちの準備と災害時の行動計画です。



地区の概要

- 私たちのまち内郷高坂町は、いわき市のほぼ中央に位置する内郷地区に含まれ、国道6号及び常磐線の北側に位置します。
- 地区の北側には計画的に開発された高坂団地に急傾斜地を挟んで接しています。

■地区の概要

地区の範囲	いわき市 内郷高坂町のうち下記の一部 字 御殿、三本杉、立野、桜井、大平、台、オサガ作、内郷高坂町二丁目 行政区：高坂2区、3区、4区	
地区内総世帯数 (H27年4月現在)	高坂2区：140世帯	高坂3区：175世帯
	高坂4区：135世帯	
主な土地利用	住宅地、学校敷地、事業所	
都市計画	市街化区域(第一種住居地域、工業地域)	

活動の経過

年度	時期	取り組み	内容
H27 年度	9月3日	第1回ワークショップ	1. 地区の災害危険性の把握
	10月1日	第2回ワークショップ	2. 地図等での情報整理
	11月5日	第3回ワークショップ	3. まち歩きによる課題の現地確認
	12月3日	第4回ワークショップ	4. 地区の防災上の課題整理とハザードマップづくり
	2月4日	第5回ワークショップ	
H28 年度	5月19日	防災まちづくり活動発表会	○ハザードマップお披露目と参加の呼びかけ
	7月7日	第6回ワークショップ	5. 課題を踏まえた対応策の検討、地区防災づくり、訓練の企画など
	9月1日	第7回ワークショップ	
	10月6日	第8回ワークショップ	
	11月4日	第9回ワークショップ	○訓練の実施
	1月5日	第10回ワークショップ	○地区防災計画案と活動計画の検討

本日は
ここ！

1. 地域の災害危険性の把握(第1回)

①土砂災害の危険性と防災情報等の提供体制

- 本地区でも土砂災害警戒区域が指定されています。
- 気象庁による大雨警報・土砂災害警戒情報、いわき市による避難情報などに基づきながら地域での助け合いによる避難が大切です。

②過去の災害での経験

- 過去の災害(東日本大震災・大雨等)では、断水や燃料不足、情報の不足、冠水や崖崩れなどが起こっています。
- 被災住宅調査やロウソク支給など地域での助け合いがありました。

③防災について不安な点

- 高齢者の避難や、地震時の家屋の安全性などの不安があります。
- 備蓄や家族での連絡などの取り組みはなされていますが、地域での取り組みについては、これからの確認が必要です。

2. 地図等での情報整理（第2回）

①地域の強み・弱みを地図で整理

- 地図をテーブルに広げ、災害時の活動の軸となる道路や施設を確認。
- 災害時の危険箇所を確認。

②地域で想定される被害を確認

- 崖崩れの危険箇所や土砂災害警戒区域等を確認。

※範囲内の住宅数や世帯・居住者数は思った以上の規模であるなど、備えの大切さがわかりました。



③地域の課題

○防災に関する地域の強み、弱みと避難の課題を整理しました。

○地域の強み

- ・ 幼稚園や小・中学校が存在し、避難場所も多い
- ・ 学校とのつながりがある
- ・ 地域住民の連帯意識がある

○地域の弱み

- ・ 急な崖地、車が入りにくい道路がある
- ・ 団地など周辺とのつながりが希薄
- ・ 高齢者が多い
- ・ 住民の危機意識が薄いのではないか

○避難の課題

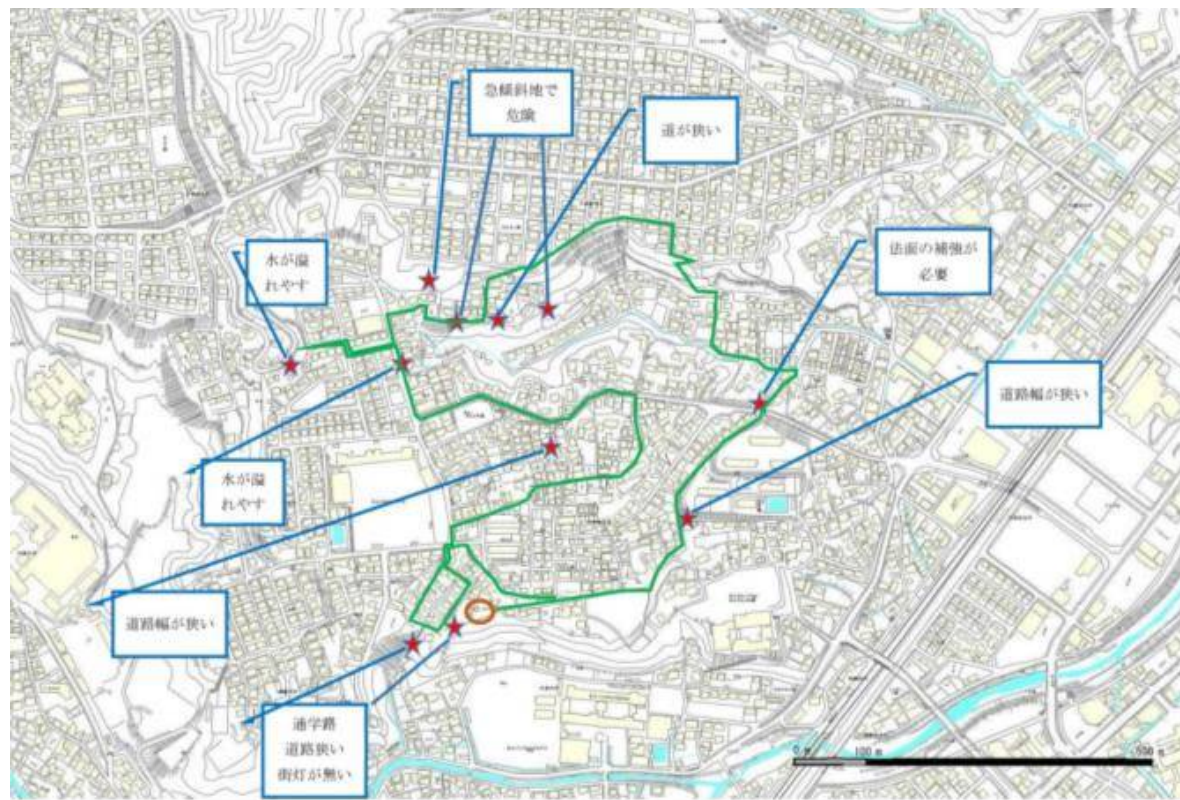
- ・ 徒歩避難が前提だが、坂道が多く避難所が坂の上の高台にある。(避難が大変)
- ・ スーパーマーケットが冠水する
- ・ 防犯カメラや災害広報スピーカー等の設置が必要
- ・ 高齢者と小・中学生との共助を進める必要
- ・ 避難時の家族連絡方法の確認が必要

3. まち歩きによる課題の現地確認(第3回)

○災害時の危険箇所を確認しました。

- 急な崖地、車が入りにくい道路
- 坂道が多い。
- 大雨の時に水が溢れたり道路が冠水する場所

まち歩きルート



急傾斜地の状況



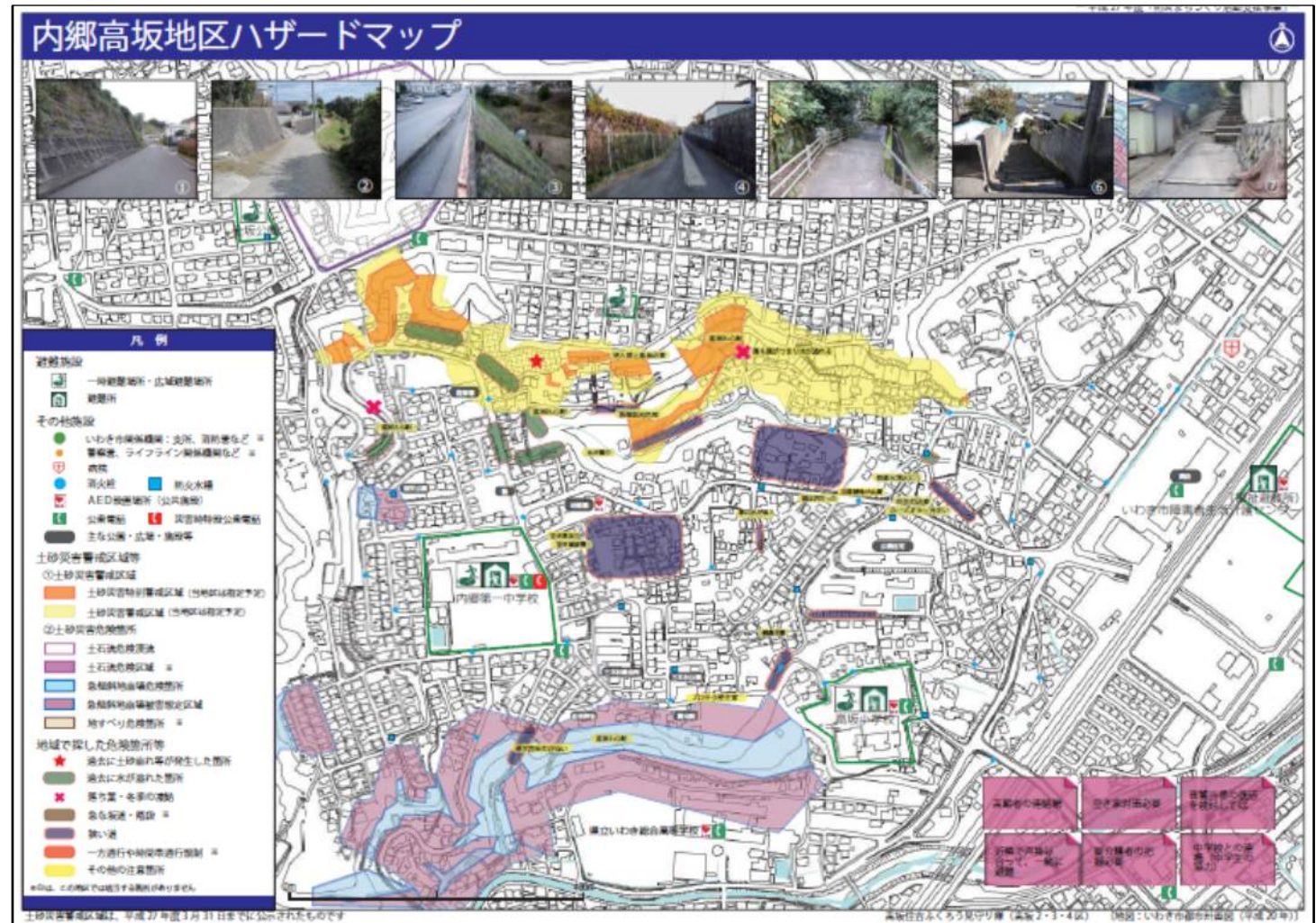
4. 地区の課題整理とハザードマップづくり

(第4～5回)

ハザードマップ表

○地区の防災に関する情報を満載したハザードマップを作りました。

※本会場にも準備
しています。
家族での話し合
いなどに活用し
てください。



4. 地区の課題整理とハザードマップづくり

ハザードマップ裏

- 防災施設の状況
がわかる写真や
家族の連絡先、
非常持ち出し袋
のチェックリス
トを記載してい
ます。

避難施設		家族や友人の連絡先		災害時の安否確認ために、家族や友人、ご近所の方などの連絡先を記入しておきましょう。	
<内郷第一中学校> 所在地：内郷高坂町立野 129  		名前 住所 電話 メール		災害用伝言ダイヤル（固定電話からの利用） 171をダイヤル 録音は 1 再生は 2 ご自宅の固定電話番号を入力 ガイダンスに従って録音または再生して下さい。 ※携帯電話やIP電話の番号は、登録番号として利用できません。	
<高坂小学校> 所在地：内郷高坂町台 6  		名前 住所 電話 メール		携帯からの災害用伝言版 利用方法を確認して、事前に準備しておきましょう。携帯各社で専用のアプリを用意しています。各社から確認・使用していることで、万が一の際にも迷わず利用できます。   QRコード読み取りアプリで、利用している携帯会社のQRコードをかざすと、利用方法が確認できます。   読み取りアプリがない場合は、iPhoneは「AppStore」から、Androidは「Google play」から「QRコード」で検索してインストールします。携帯会社のロゴはカメラ撮影の範囲に当たっているか、各社の携帯アプリから検索できます。	
その他の主な施設 住吉神社  三本杉集会所  桜井公園  高坂幼稚園 		名前 住所 電話 メール		非常持ち出し袋の点検 避難時に持ち出すものを書きだしておきましょう。 チェック！ ☐ 現金（公衆電話用の10円玉も）、預金通帳、キャッシュカード ☐ 健康保険証、運転免許証、学生証・社員証、マイナンバーカード ☐ 携帯電話、ラジオ、懐中電灯、予備の電池、充電器 ☐ 筆記用具（ペン、メモ帳） ☐ 水、食糧（日持ちのするもの）、常備薬、救急セット、お菓子類 ☐ 防災備わったヘルメット、マスク、軍手、万能ナイフ、ライター、ビニール袋 ☐ 下着、タオル、ウエットティッシュ、トイレトイペーパー、使い捨てカイロ ☐ 洗面用具（歯ブラシ、タオル等）、旅行用スリッパ、ペット用品（水・食料用） ☒ 季節に合った衣類はありますか？ ☒ ラジオや懐中電灯は動作しますか？ ☒ 乾電池やバッテリーは使用可能ですか？	

5. 地区防災計画を検討しています(第6回～)

○住民自らが地区の防災力を高めるための取組について検討しています。

○検討内容は、「内郷高坂町 地区防災計画」としてとりまとめていきます。

○完成後発表しますので、この計画を元に地区の防災力の向上に一緒に取り組みましょう。



地区防災計画の話し合いの様子

■地図での「イメージづくり」



同じ地区でも、場所により「高いところ」、「低いところ」があることや、急斜面は雨水の流れが速いこと、夜の場面など、避難のあり方に細かな配慮が必要なことに気づきました。

■参加者の「イメージ結果」



今後の大雨が想定される場面では、側溝や雨樋の詰まり等の心配が多く、テレビやラジオでさらなる情報収集が必要だとイメージされる方が多くいらっしゃいました。

■話し合ったことの全体発表



被害を軽減するためには、住民一人ひとりが土地の高低や避難ルートを確認しておくことや、地区としては、日頃から行政区ごとに訓練が必要ではないか等を話し合いました。

- ご静聴ありがとうございました。
- ハザードマップをお持ち帰りください。
- 災害時の備えや避難場所について確認、話し合いに使用してください。